

四有花入重才子自吹之み孫明夜半度  
いしそ候も居ゆり方血分も物とん小見川上  
後一戸方あるいふん梅下りり聖母の方と夜  
小見川上後一日夜みり福川下上流とりど取  
人見付と交之のころと一ととと所宅と持取  
夜と入のうんそ不候存とせと死骸方と月夜  
入さのさり不と候之字ある寺にお初見り方靈  
恩雲層も裏の方欠落居居る不可なり  
不白と捕とある事

二十七  
次  
以化四来年より

東海に往還三州矣他川田院毎矣化并地因  
建陽茶屋と蕎麦うんとんそ不存物と置業  
と徳人の高しと口と返りし福人の男名ハ失念  
はとの方と南より日不無山伏を人集り休是いし  
兵りそは物と好とり方出と不あきとれいと跡居る  
このあひを特し事の中へん彼を由おいさし  
獨りあのとん交り方徳き世房と母居候とを分ふ  
伏し分らた何言しこのころに知人もさしり時  
と分らりりてあしと福徳持好に及り候と物と  
まらと来とて山伏と出り方好しとの事とアとの  
知しぬ兵り不と後日月とら右と山伏と女と人



